

## 第 37 回新しい資本主義実現会議 提出資料

LINE ヤフー株式会社 代表取締役会長  
川邊 健太郎

世界では AI やデジタル技術の進展、そしてグローバル競争の激化が加速しており、日本としても人材育成や投資の面で遅れを取らないことが喫緊の課題です。その点で、リ・スキリング支援の拡充や「産業人材育成プラン」の策定、生成 AI をめぐる AI 法の成立や AI 戦略本部の設置、さらにはスタートアップ数の過去最高更新やコンテンツ産業の海外展開戦略など、制度と基盤づくりが進み、日本の未来を担う分野の成長を後押ししたことは大きな成果であったと評価します。

そのうえで、今後期待する取組として三点申し上げます。

第一に、生成 AI をはじめとする先端技術の社会実装をさらに加速することです。必要な制度整備と実証フィールドの拡大を通じて、日本が国際競争の最前線に立てる環境を整えていただきたいと思います。

第二に、人的資本投資の抜本的強化です。リ・スキリングを通じてアドバンスト・エッセンシャルワーカーを育成し、処遇改善とあわせて社会の持続性を確保する政策を強く望みます。その際には、物流や移動の担い手不足に直面する現場の声を踏まえ、自動車学校や技能習熟プロセスの DX を進め、AI 教材やデータ活用で人材育成のスピードと質を高めることが不可欠です。

第三に、地方創生です。モビリティ・ロードマップや地方創生 2.0 の取組をさらに実効性あるものとし、ライドシェアの抜本的拡充や自動運転バス・タクシーの社会実装を加速させ、移動の自由を保障することが観光立国実現の前提です。こうした改革を通じて、地域経済をインバウンド需要と結びつける戦略を推進していただきたいと思います。

最後に、今後の新しい資本主義実現会議においては、これまでの取組を基盤としつつ、未来への投資と実行力をもって、日本経済と社会の変革を力強く牽引されることを心から期待いたします。